

IBM Cognos Analytics on Cloud Hosted

本「サービス記述書」は「クラウド・サービス」について規定するものです。該当する注文関連文書には、お客様の発注に関する価格の詳細情報および追加の詳細情報が記載されています。

1. クラウド・サービス

本「クラウド・サービス」は SoftLayer のデータセンターでホストされ、お客様は、Web ブラウザーを介して、IBM Cognos Analytics ソフトウェアの最新機能にアクセスし、ダッシュボード、対話式レポート、カスタム分析、アドホック・クエリーの開発、レポートの新規作成、定期レポートの表示、およびアクティブ・レポートの取り込みができます。「クラウド・サービス」は OLAP を対話的に活用し、お客様が、リスト、クロス・タブ、チャート、および財務諸表スタイルのレポートといった幅広いレポート・タイプを作成してフォーマットすることができるようにします。「クラウド・サービス」は、Apple iPhone、Android、およびタブレットを含む幅広いモバイル・デバイスを使ったレポートの取り込みにまで及びます。

1.1 オファリング

お客様は、利用可能な以下のオファリングから選択することができます。

1.1.1 IBM Cognos Analytics on Cloud Hosted User

本「クラウド・サービス」の 1 つの「インスタンス」の使用許諾には、実稼働「インスタンス」と「非実稼働インスタンス」がそれぞれ 1 つ含まれています。実稼働「インスタンス」では、3 つの IBM Cognos Analytics Pod と、ユーザーが生成したコンテンツに対して 250GB のストレージ (Content Store および監査 DB) の利用を可能にします。「非実稼働インスタンス」では、ユーザーが生成したコンテンツに対する 125GB のストレージ (Content Store および監査 DB) の利用が可能です。

1.1.2 IBM Cognos Analytics on Cloud Hosted Viewer

本「クラウド・サービス」では、IBM Cognos Analytics on Cloud Hosted User の使用許諾が少なくとも 1 つ必要です。

IBM Cognos Analytics on Cloud Hosted Viewer では、「クラウド・サービス」の以下のコンポーネントまたは機能のみを使用することが許可されています。

- Cognos Analytics ポータルおよび View Reports へのアクセス
- ダッシュボードおよびストーリーとのインタラクション
- 指示されたレポートの実行

1.1.3 IBM Cognos Analytics on Cloud Hosted Capacity

本「クラウド・サービス」の 1 つの「インスタンス」の使用許諾には、実稼働「インスタンス」と「非実稼働インスタンス」がそれぞれ 1 つ含まれています。実稼働「インスタンス」では、3 つの IBM Cognos Analytics Pod と、ユーザーが生成したコンテンツに対して 250GB のストレージ (Content Store および監査 DB) の利用を可能にします。「非実稼働インスタンス」では、ユーザーが生成したコンテンツに対する 125GB のストレージ (Content Store および監査 DB) の利用が可能です。

1.1.4 IBM Cognos Analytics on Cloud Hosted Proof of Concept

本「クラウド・サービス」は、上限を 90 日間とする短期間のサブスクリプションです。ユーザーが生成したコンテンツに対する 100GB のストレージ (Content Store および監査 DB) の「非実稼働」の利用が可能です。

1.1.5 IBM Cognos Analytics Standard – BYOL on Cloud

「クラウド・サービス」は最小で 3 つの IBM Cognos Analytics Report Server の利用が可能です (アドオンとして追加の Report Server を購入できます)、かつユーザーが生成したコンテンツに対して最大 250 GB のストレージを可能にします。さらに、この「IBM クラウド・サービス」には、お客様が非実稼働の作業

のみのために使用できる「クラウド・サービス」の1つの「インスタンス」を備えた別個の環境が1つ含まれています。本「クラウド・サービス」には、下記の IBM Cognos Analytics on Cloud BYOL に適用される条件も適用されます。「クラウド・サービス」で 1,500 人を超える「許可ユーザー」が有効化された場合、パフォーマンス低下が発生する場合があります。

1.1.6 IBM Cognos Analytics Enterprise – BYOL on Cloud

「クラウド・サービス」は最小で 5 つの IBM Cognos Analytics Report Server の利用が可能で (アドオンとして追加の Report Server を購入できます)、かつユーザーが生成したコンテンツに対して最大 250GB のストレージ (Content Store および監査 DB) を可能にします。さらに、この「クラウド・サービス」には、お客様が非実稼働の作業のみのために使用できる「クラウド・サービス」の1つの「インスタンス」を備えた別個の環境が1つ含まれています。この「非実稼働」環境では、ユーザーが生成したコンテンツに対する最大 125GB のストレージ (Content Store および監査 DB) の利用が可能です。本「クラウド・サービス」には、下記の IBM Cognos Analytics on Cloud BYOL に適用される条件も適用されます。

1.2 オプション・サービス

1.2.1 IBM Cognos Analytics on Cloud Hosted Additional Pod

この「クラウド・サービス」は、追加で 1 つ IBM Cognos Analytics Pod をプロビジョニングするために提供されます。IBM Cognos Pod では、PDF、HTML、XLS、XML および CSV のフォーマットでレポートを作成します。このアドオンは、IBM Cognos Analytics on Cloud Hosted User、IBM Cognos Analytics on Cloud Hosted Additional Non-Production または IBM Cognos Analytics on Cloud Hosted Capacity のいずれかの使用許諾をお持ちのお客様にのみ提供されます。

1.2.2 IBM Cognos Analytics on Cloud Hosted Additional Non-Production

この「クラウド・サービス」は、追加で 1 つ IBM Cognos の「非実稼働インスタンス」をプロビジョニングするために提供されます。この「非実稼働インスタンス」では、ユーザーが生成したコンテンツに対する 125GB のストレージの利用が可能です。このアドオンは、IBM Cognos Analytics on Cloud Hosted User または IBM Cognos Analytics on Cloud Hosted Capacity のいずれかの使用許諾をお持ちのお客様にのみ提供されます。

1.2.3 IBM Cognos Analytics on Cloud Hosted Additional Storage

このオプションの「クラウド・サービス」は、ユーザーが作成したコンテンツに対して、契約済みの「クラウド・サービス」で規定される最大値を超え、100 GB の追加ストレージを提供します。このアドオンは、IBM Cognos Analytics on Cloud Hosted User または IBM Cognos Analytics on Cloud Hosted Capacity のいずれかの使用許諾をお持ちのお客様にのみ提供されます。

1.3 アクセラレーション・サービス

1.3.1 IBM Cognos Analytics on Cloud Hosted Jump Start Remotely Delivered

このセットアップ・サービスは、スタートアップ・アクティビティーについて最大 50 時間のリモート・コンサルティング時間を提供します。これには、(1) ユース・ケースによる支援、(2) レポート、ダッシュボードおよびその他システム・ツールのプラクティスに関する指導、(3) 初期データ・ロードの準備、実行および検証に関するガイドによる支援およびアドバイス、(4) その他管理および構成に関して関心のある主題が含まれます。(以下総称して「スタートアップ・アクティビティー」といいます。) このリモートで提供されるセットアップ・サービスは、「エンゲージメント」ごとに購入されるものとし、すべての時間数が使用されたか否かに関わらず、「取引文書」に記載された使用許諾の購入日から 90 日後に終了します。

1.3.2 IBM Cognos Analytics on Cloud Hosted Accelerator Remotely Delivered

このセットアップ・サービスは、アクティビティーの実行に使用される最大 50 時間のリモート・コンサルティング時間を提供します。これには、(1) ユース・ケースによる支援 (1 回限りのポイント・イン・タイムのデータ移動を支援するデータ移動のユース・ケースを含みます。)、(2) レポート、ダッシュボードおよびその他システム・ツールのプラクティスに関する指導、(3) 初期データ・ロードの準備、実行および検証に関するガイドによる支援およびアドバイス (ソース環境およびターゲット環境のセットアップ、およびデータ移動のユース・ケースに定義されるデータ移動を含みます。)、(4) その他管理および構成に

関して関心のある主題が含まれます。(以下総称して「アクティビティ」といいます。)このリモートで提供されるセットアップ・サービスは、「エンゲージメント」ごとに購入されるものとし、すべての時間数が使用されたか否かに関わらず、使用許諾の購入日または「クラウド・サービス」の当初サブスクリプション期間の最終日のいずれか早い日から12か月後に終了します。

2. データ処理およびデータ保護に関するデータ・シート

IBM のデータ処理補足契約書 (<http://ibm.com/dpa> に公開。「DPA」)のほか、以下のリンクの「データ処理およびデータ保護に関するデータ・シート」(データ・シートまたは「DPA 別表」)にも、「クラウド・サービス」およびそのオプション(処理対象の「コンテンツ」の種類、対象となる処理活動、データ保護機能、および「コンテンツ」の保存および返却についての仕様に関連)に関する追加的なデータ保護情報が記載されています。DPA は、i) EU 一般データ保護規則 (EU/2016/679) (GDPR)、または ii) <http://ibm.com/dpa/dpl> に記載されているその他のデータ保護法が適用される場合に、その適用範囲に限り、「コンテンツ」に含まれる個人データに適用されます。

<https://www.ibm.com/software/reports/compatibility/clarity-reports/report/html/softwareReqsForProduct?deliverableId=E7BC3AD0240411E58BCB3FD1A5DC388F>

3. サービス・レベルおよびテクニカル・サポート

3.1 サービス・レベル・アグリーメント

IBM は、以下の可用性のサービス・レベル・アグリーメント(以下「SLA」といいます。)をお客様に提供します。IBM は、下表のとおり、「クラウド・サービス」の累積的な可用性に基づき、適用しうる最大の補償を適用します。「可用性」は、契約月における分単位の総時間数から、契約月における「サービス・ダウン」の分単位の総時間数を差し引き、それを契約月における分単位の総時間数で除することにより算出され、結果はパーセントで表します。「サービス・ダウン」の定義、請求のプロセス、サービスの可用性の問題に関して IBM に連絡する方法については、IBM の「クラウド・サービス」のサポート・ハンドブック (https://www.ibm.com/software/support/saas_support_overview.html) に掲載されています。

可用性	クレジット (月額サブスクリプション料金のパーセント*)
99.9% 未満	2%
99.0% 未満	5%
95.0% 未満	10%

*サブスクリプション料金は、請求対象月に関して約定した料金です。

3.2 テクニカル・サポート

「クラウド・サービス」のテクニカル・サポート(サポート窓口の連絡先情報、重大度レベル、サポート利用可能時間、応答時間、その他のサポート情報およびサポート・プロセスなど)を参照するには、IBM サポート・ガイド (<https://www.ibm.com/support/home/pages/support-guide/>) の「クラウド・サービス」を選択します。

4. 料金

4.1 課金単位

「クラウド・サービス」の課金単位は、「取引文書」に記載されます。

以下の課金単位が本「クラウド・サービス」に適用されます。

- 「許可ユーザー」とは、直接または間接のいかなる方法においても(例えば、多重化プログラム、デバイスまたはアプリケーション・サーバーを通じて)「クラウド・サービス」へのアクセス権限を付与されている特定のユーザーを指します。
- 「エンゲージメント」とは、「クラウド・サービス」に関するプロフェッショナル・サービスまたはトレーニング・サービスです。

- 「インスタンス」は、「クラウド・サービス」の特定の構成への各アクセスを意味します。
- 「ギガバイト」(「GB」)とは、「クラウド・サービス」によって処理されるか、「クラウド・サービス」において使用、保管、または構成される 2 の 30 乗バイトのデータとして定義されます。
- 「アプリケーション・インスタンス」は、「クラウド・サービス」に接続されるか、「クラウド・サービス」に管理される、固有の名前を持つソフトウェア・アプリケーションのコピーです。複合環境(テスト、開発、ステージング、本番など)にある 1 つの「アプリケーション」、または単一環境にある 1 つのアプリケーションの複数インスタンスは、別個の「アプリケーション・インスタンス」とみなされます。

4.2 リモート・サービス料金

リモート・サービスを使用したか否かにかかわらず、リモート・サービスは購入日から 90 日後に満了となります。

5. 追加条件

2019 年 1 月 1 日よりも前に締結されるクラウド・サービス契約書(または同等のクラウド基本契約)については、<https://www.ibm.com/acs> に掲載されている条件を適用します。

5.1 イネーブリング・ソフトウェア

イネーブリング・ソフトウェアは、以下の条件で提供されます。

イネーブリング・ソフトウェア	適用されるライセンス条件 (ある場合)
IBM Cognos Framework Manager	http://www-03.ibm.com/software/sla/slabd.nsf/displaylis/5E29C866388B1D808525834B0005A60F?OpenDocument
IBM Cognos Transformer	http://www-03.ibm.com/software/sla/slabd.nsf/displaylis/67822D46168ACD5C852582BC00021061?OpenDocument
IBM Cognos for Microsoft Office	http://www-03.ibm.com/software/sla/slabd.nsf/displaylis/D6A60B7348E8D46B852581CC0058339F?OpenDocument
IBM Cognos Analytics Software Development Kit	http://www-03.ibm.com/software/sla/slabd.nsf/displaylis/BC114A9FDD98C98B8525833900161F72?OpenDocument

5.2 お客様が提供する資料

お客様が IBM に対して、お客様または第三者のドライバー、ならびにお客様が IBM にお客様の「クラウド・サービス」環境で使用するよう依頼する jar ファイル、ライセンス・ファイル、構成ファイル、およびその他の資料(「お客様が提供する資料」と総称します。)を提供する場合は、お客様はここに、お客様の該当する知的財産権に基づいて、お客様に「クラウド・サービス」を提供するためにのみ「お客様が提供する資料」を使用するための、支払い済み、非独占的、譲渡不能、全世界的、かつ制限付きの使用権(再使用権を許諾する権利は含まれません。)を IBM に許諾します。IBM は、かかる「お客様が提供する資料」を使用するか否かについて独自に判断し、理由を問わず、独自の裁量により随時「お客様が提供する資料」の使用を中止することができます。

お客様は、(a) お客様が「お客様が提供する資料」を IBM に供与するために必要な権利を有していること、(b) IBM が、お客様に「クラウド・サービス」を提供する際に「お客様が提供する資料」を合法的に使用できること、および(c)「お客様が提供する資料」には有害なコードが含まれていないことを継続的に表明し、保証します。お客様は、IBM に「お客様が提供する資料」の使用を認める権利を喪失したか、または「お客様が提供する資料」に有害なコードが含まれていることに気付いた場合は、速やかに IBM に通知するものとします。

お客様は、以下のことを了承します。(a) IBM は、「クラウド・サービス」内で「お客様が提供する資料」が機能することを保証しないこと、(b) 「お客様が提供する資料」により、IBM による (1) 「クラウド・サービス」に関連する表明および保証、または (2) 「クラウド・サービス」の「サービス・レベル」を達成する IBM の能力が阻害される場合は、IBM はお客様に対する責任を負わないこと。

5.3 クラウド・サービスの環境の更新

お客様の環境を IBM Cognos Analytics on Cloud の最新バージョンに更新する必要がある旨の通知を IBM から受けた場合、お客様は、通知を受けてから 60 日以内 (IBM がそれ以上の期間に同意した場合は除きます。)に環境を更新するものとします。お客様が実稼働前環境および実稼働環境をどちらも有している場合には、実稼働前環境を最初に更新し、その後 2 週間以内に実稼働環境を更新します。IBM が、実稼働前環境の更新から実稼働環境の更新までの期間について 2 週間を超える期間に同意した場合は除きます。IBM は、お客様に通知することなく、重大な脆弱性または規制要件に対処するために、IBM Cognos Analytics on Cloud の環境を更新することができます。

お客様の環境が IBM Cognos Analytics on Cloud の最新バージョンについて 1 つ以上前からの更新に該当する場合、お客様の環境は、IBM Cognos Analytics on Cloud の最新バージョンが提供されてから 60 日以内 (IBM がそれ以上の期間に同意した場合は除きます。)に IBM Cognos Analytics on Cloud の最新バージョンに更新されます。お客様が実稼働前環境および実稼働環境をどちらも有している場合には、実稼働前環境を最初に更新し、その後 2 週間以内に実稼働環境を更新します。IBM が、実稼働前環境の更新から実稼働環境の更新までの期間について 2 週間を超える期間に同意した場合は除きます。

IBM Cognos Analytics は、[バージョン].[リリース].[修正レベル].[暫定修正] のように番号が付されます。上記のテキストにおいて、「バージョン」とは、任意の IBM Cognos Analytics リリースの付番内の「修正レベル」を表します。11.0.8 から 11.0.9 への変更は、バージョン変更の一例です。「バージョン」番号または「リリース」番号の連続リリース間の変更も、この文脈においては単一のバージョン変更になります。

5.4 非実稼働 (Non-Production) に関する制限

「クラウド・サービス」が「非実稼働用」に指定されている場合、「クラウド・サービス」は、お客様の非実稼働活動の一環 (テスト、性能調整、故障診断、ベンチマーキング、ステージング、品質保証活動または公開されたアプリケーション・プログラミング・インターフェースを使用する社内使用の「クラウド・サービス」に対する追加または拡張の開発を含みますが、これらに限られません。)としてのみ、使用することができます。

5.5 IBM Cognos Analytics on Cloud BYOL に適用される条件

BYOL (Bring Your Own License) オファリングでは、お客様は、下表に明記された関連 IBM プログラムの適切なライセンス資格を事前に取得している必要があります。BYOL SaaS に対するお客様の使用許諾は、下記の比率で、関連 IBM プログラムに対するお客様の使用許諾を超えることはできません。

BYOL オファリングには、関連 IBM プログラムのサブスクリプション & サポートは含まれていません。お客様は、関連 IBM プログラムに対する適用可能な (1) ライセンス資格、および (2) サブスクリプション & サポートを予め取得していることを表明するものとします。BYOL オファリングのサブスクリプション期間中、お客様は、BYOL オファリングの使用許諾と併せて使用する IBM プログラム使用許諾の現在のサブスクリプション & サポートを維持する必要があります。関連 IBM プログラムを使用するためのお客様のライセンス、または関連 IBM プログラムのお客様のサブスクリプション & サポートのいずれかが終了した場合、お客様の BYOL オファリングを使用する権利は終了します。

お客様は、以下の期間 (以下「同時使用期間」といいます。)にわたって、BYOL オファリングのお客様による使用と同時に、関連する IBM プログラムを導入するために BYOL オファリングの使用に適用される、関連する IBM プログラムの使用許諾を引き続き使用できます。サブスクリプション期間が 3 年未満のお客様については、BYOL オファリングの初期サブスクリプションをお客様が開始してから 90 日以内。サブスクリプション期間が 3 年以上のお客様については、BYOL オファリングの初期サブスクリプションをお客様が開始してから 1 年以内。「同時使用期間」の終了後、BYOL オファリングを使用する間、BYOL オファリングの使用に適用される関連 IBM プログラムに対するお客様の使用許諾は中断され、お

お客様はそれ以降、当該使用許諾を使用して、関連 IBM プログラム (規定された例外の対象) をデプロイすることはできません。

関連 IBM プログラム	BYOL オファリング	BYOL オファリングの許可ユーザーの比率
IBM Cognos Analytics Explorer	<ul style="list-style-type: none">● IBM Cognos Analytics Standard – BYOL on Cloud● IBM Cognos Analytics Enterprise – BYOL on Cloud	1:1
IBM Cognos Analytics User	<ul style="list-style-type: none">● IBM Cognos Analytics Standard – BYOL on Cloud● IBM Cognos Analytics Enterprise – BYOL on Cloud	1:1
IBM Cognos Analytics Information Distribution	<ul style="list-style-type: none">● IBM Cognos Analytics Standard – BYOL on Cloud● IBM Cognos Analytics Enterprise – BYOL on Cloud	1:1

5.6 災害復旧

災害復旧作業を要する大規模なシステムの中断が発生した場合、本「クラウド・サービス」の目標復旧時間は 14 暦日です。